

グラッときたら、
思い出そう！

電気の 安全ポイント



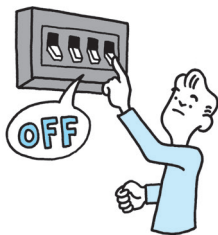
○スイッチを切り、プラグを抜いてください。

特に、アイロンやドライヤーなどの電熱器具は火事の原因になりやすいので、すぐにプラグをコンセントから抜いてください。



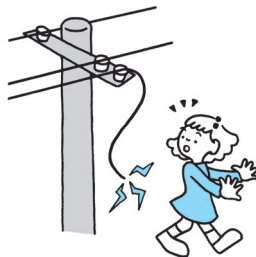
○ブレーカーは『切』にしてから避難を。

家の外へ避難するときは、念のために、ブレーカーを必ず『切』にしてください。



○切れた電線には絶対さわらないで！

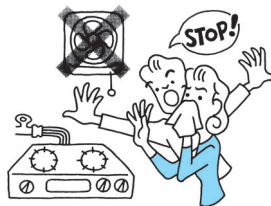
切れてたれ下がった電線には、絶対にさわらないでください。電線に、木や看板、アンテナなどが触れていたり、電柱が傾いていたりしているのを見つけたときは、すぐにコンタクトセンター（0800-777-3081）までご連絡ください。



いざというとき、電気は…

○家に戻ったら、確認しましょう。

避難所などから家に戻ってきたら、家の中の電気器具やガス器具などに異常がないか確認しましょう。ブレーカーはひとつずつ確認しながら入れてください。異常があった場合は、不用意にさわらず、電気・ガス店などで点検してください。



○ガス臭いときは、電気のスイッチには絶対さわらないで！

ガス臭いときは、換気扇や蛍光灯など、あらゆる電気のスイッチは絶対に使用しないでください。火花が飛んで漏れたガスに引火する恐れがあり、非常に危険です。

○水につかった電気器具などは、必ず点検を！

浸水や漏水などで水につかった電気器具や配線類は、漏電などの原因となり大変危険です。必ず電気店などで点検してから使用するようにしてください。

